

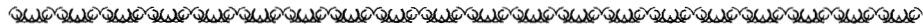
PTA会報

No.68 2018.3

# 嵩山



松江東高



## 目次

○ P T A 副会長挨拶	1
○ 教頭挨拶	2
○ 卒業生に贈る言葉	3
○ 保護者からの言葉	6
○ 卒業生からの言葉	8
○ 後期部活動成績一覧	10
○ P T A 会務報告	15
○ 編集後記	16



### 東雲 / Shinonome

夜の闇から光の朝へと移行する夜明け前の青色に染まる空  
地平線を見つめながら、人生の夜明けを静かに、そして力強く我は想像する  
時間は過去から現在、そして未来へと一本の線で繋がっている

私たち松江東高の校歌の冒頭「朝（あした）のめぐみ 創造の」と口ずさみながら私はそんな景色を  
想像していました。この歌詞のように、東高生が希望と可能性に満ちた将来を  
白い心のキャンパスに一筆ずつ色を添えるかの如く実現されますようお願いいたしました

校歌は最後に「いざや 謡（うた）はん ともがらよ」と終わります  
はじめて作品制作のお話をいただいた 2015 年末から今日に至まで  
制作には様々な困難や試行錯誤がありました  
そんな時、友からのエール、先生方からの励ましの言葉が私の心を強く支えてくれました  
この場をお借りしてお世話になった友と皆様にお礼を申し上げます

私にとって松江東高は原点です  
卒業から 30 年が経ち、本日この地に作品を寄贈できました事、誠に光栄で大変嬉しく思います  
在校生の皆さん、どうか自身の夢の実現のために精進して下さい 応援しています！  
そして過去から現在、未来へこれからも本校が未永く繁栄し続けますよう、祈っております

2017 年 5 月 4 日  
松江東高等学校 第一期 卒業生 安来明宏



## 板挟みと想定外を生き抜く

PTA副会長 後藤 康太郎

冬の寒さの中にも少しずつ春の兆しを感じられるようになってまいりました。皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また会員の皆様におかれましては、日頃から本校PTA活動に際しまして、ご理解とご尽力を賜り心より御礼申し上げます。

早いもので卒業・進級の季節を迎え、三年生の皆さん、保護者の皆様には特に気ぜわしく落ち着かない毎日であろうかと存じます。松江東高校を巣立っていく皆さんの明るい前途と益々のご活躍を心より祈念しております。

さて、本年度の卒業生が一九九九年から二〇〇〇年生まれ、来年度はついに二十一世紀生まれの子どもたちが松江東高校を卒業します。今年二〇一八年を迎え、世紀をまたいで誕生したこの子たちに私たち親はどんな二十一世紀の社会を作れているのか、わが子が就職や進学の壁にぶつかるに至って、そんなことを考えることが多くなりまして。

このごろ宿題に苦しむ我が子が「なんのために勉強するのか」という問いをぶつけてきます。少し前なら沢山の学習の努力が希望の進路を開き、希望の進路を開くことが幸せな人生にもつながる、というようなことを答えていました（つまりは受

験のため）。しかし考えてみると、大切なのは学びによってどんな力をつけるのか、つけた力でこれからの社会をどう生きるのか、ということになるのでしょうか。

昨秋、PTA連合会の研修会で文部科学大臣補佐官鈴木寛氏の「これからの高等学校教育を考える」という講演を拝聴しました。十二月発行のHP連だよりも概要が掲載されましたのでご覧になられた方もおいでのことと思います。（なお島根高P連のHPにも掲載していただいております。<http://shimako.sakura.ne.jp/>）

鈴木氏によると、「今後二十二世紀に向かって社会はさらに急激に変化し、より早く正確に問題を処理していく仕事は人工知能やロボットが担い、そのような人材は必要が無くなる。先の見えない激しく変化していく社会だからこそ、より創造的に問題や課題に向かうことが求められ、複雑で難解な『板挟み』や『想定外』の状況を多様な他者ととも解決していける力が必要になる。これを踏まえてこれから国の教育課程の改定と大学入試の改革が始まる。」とのことでした。

確かにスーパードレジャーやガソリンスタンドから人が減り、駅の改札からは人がいなくなりました。一方で、仕事でも地域でも社会が一層複雑になり、

簡単に解決できない問題にあふれ、これまでなかった課題に直面することも多くなりました。難しい世の中になったものです。鈴木氏の話はあながち遠い未来の話ではないように思っています。

「何のために学ぶのか」と改めて問い直せば、二十二世紀に向かい板挟みや想定外の問題に立ち向かい解決できる力を養うため、そしてその様な変化する社会を生き抜くため、ということになりそうです。（もつとも私自身は毎日が板挟みと想定外の連続ですが。）

さて、我が家はどうかと考えたとき、「板挟み」や「想定外」を先回りしてなんとか子どもが困らないように、手を添えて背中を押しながら用意した段取りを歩ませてきたようにも思っています。皆さんのご家庭はどうでしょう。まさに松江東高校が標榜される「自立への道程」という言葉の大切を改めて感じ入りました。

我が子を取りまく目先のことに捕らわれがちですが、予測不可能な将来をどんな大人になつてどう生きるのか、少し俯瞰して子どもに接することが必要だと感じています。様々な場面で展開される板挟みや想定外の学びを応援していきたいと思えますし、模試の点数に一喜一憂することもあろうでしょうが、その背景にある子どもの育ちや学びをしつかりぶれずに支えていきたいものだと思います。

終わりになりますが、新年度も引き続き松江東高校の確かな教育活動を支えるPTAとして、皆様のご尽力を賜り、活動がより豊かなものになりますよう、重ねてお願いを申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。



# V U C A

教頭 山崎

誠

松江東高校三十三期の生徒・保護者のみなさま、ご卒業おめでとうございます。

この二年間、生徒・教職員の合言葉として「自立への道程」が掲げられました。この合言葉は、キャリア教育と学力を両輪として動かし、自分らしいライフデザインの実現をめざして、自立した十八歳として卒業して欲しいという思いから、永瀬校長が掲げられたものです。卒業というライフステージの大きな節目の一つに立った今、自立した十八歳となれたでしょうか。自己実現力は高まったでしょうか。

そもそも、自立とはどういう意味なのでしょう。辞書では、「他者の助けや支配なしに自分一人の力だけで物事を行うこと。ひとりだち。独立。」となっています。大学進学等で親もとを離れて生活する人も多いと思います。これも自立です。永瀬校長は、「自立(自律)」と表現されました。辞書では、「自律」は「自分の立てた規律に従って自らの行いを規制すること」とあります。例えば、朝六時には自分で起きて遅刻をせず登校するという生活習慣を守ることでしょうか。

高校生頃までの親が子どもに期待する自立の意味合いは、「精神的に自立し、決められたことをきちんとできること」が多いと思います。その期待する自立(自律)像に近づこうと自立だと思ってきた人もいると思います。間違いではありません。ただし、「(自立した)いい子」という表現は、親たちがやってほしいことを自動的に行ってくれる子という意味合いがあることは否めません。例えば、何も言わなくてもきちんと勉強して頑張る子。しかし、そこに自分の意思や主体性がなけ

れば自立ではなく自動化にしか過ぎません。大人にとつて都合がよい、単に手のかからない育てやすい子では意味がないのです。

生活習慣的なことは確立されたほうが良いに決まっていますが、本人がその気になれば一瞬に決まることができることも確かです。例えば、遅刻。大人になって遅刻をする人はあまりいないでしょう。しかし、大人になったから遅刻をしなくなったのではなく、自分の意思や主体性が大人になって発揮されるようになったから、たと思います。遅刻したら自分や社会(会社)に不利益が生じるという意思を持ったからです。間違えて欲しくないのは、大人になったからと言って一瞬でできるようなものではないと言うことです。自立したからできることなのです。そういう意味で自立への道程を歩んでいる人は、学校でも遅刻などしないものです。また、これからの時代は、それが今まで以上に強く発揮されることが求められる社会でもあります。

つまり、真に自立している人とは、自分がやりたいことや社会が望むことを、自分で見つけ、主体的に取り組んでいくという自己実現力が高い人のことであり、それを他者と協働してより高めていくことができる人のことだと思っています。

文部科学省では、「社会的自立と社会参画の力を育む教育」と題し、学校においては、子供たちが社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、生涯にわたって生き抜く力や地域の課題解決を主体的に担うことができる力を身に付けられるよう、個々人の直面する課題や社会の多様な課題に対応した教育を実施しているとしています(HIP参照)。

それはまさに、自己実現力の育成、つまり「自立への道程」と言えるでしょう。

ステイブン・R・コヴィー著『7つの習慣』では、7つの習慣を私的・公的・社会的成功及び最新再生の3つのカテゴリーに分けて説明されています。私的・公的・社会的成功とは、依存状態から自立することであり、第1〜第3の習慣が含まれます。公的・社会的成功とは、自立した人間が相互に依存することであり、第4〜第6の習慣が含まれます。私的・公的・社会的成功とは、高い成果が得られることとしています。私的・公的・社会的成功は「終わりを思い描くことから始める」としています。これは自立への第一歩とも言えるでしょう。ちなみに、第四の習慣は「Win-Win」を考えることとされています。

自立には様々な位相があり、「身体的自立」「精神的自立」「経済的自立」「社会的自立」などがあげられます。身体的自立がむずかしい障がいのある人でも、精神的に自立することはできます。一方で、身体的自立や経済的自立ができるよう支援や合理的配慮をしていく社会的実現を今は目指しています。そのうえで果たす社会的自立とは、「自己決定に基づいて主体的な生活を営むことができる」ことであり、なんでも自分でできるという意味ではないと思っています。

今は、何が起るか予測不能な「VUCA」の時代です。急速にグローバル化が進み、社会は急激な変化を遂げています。「VUCA」とは「Volatility(激動)」「Uncertainty(不確実性)」「Complexity(複雑性)」「Ambiguity(不透明性)」の頭文字をつなげた言葉です。だからこそ、自立していないと時代や社会に翻弄され続けま

「VUCA」の時代だからこそ、「(V) Vision」を持って、知識やスキルを常に「(U) Update」するため学び続けながら、他者と「(C) Communication」をとりながら協働し、主体性を発揮して「(A) Action」を起こすことが大事であり、そのことが「自立への道程」だと思っています。

これからのみなさんの活躍を願っています。

# 卒業生に贈る言葉

## 自分に厳しく 他人に優しく



校長  
永瀬嘉之

これまで何らかの関わりがあった生徒にはこの言葉を贈りましたので今年も昨年同様この言葉を贈りたいと思います。

私にとっては最後の卒業生ということで特別な思いがあります。2年間の短い関わりでしたが、様々な感動や喜びをもらえたことに感謝しています。この言葉を心の片隅に残してくれば幸いです。

「自分に厳しく」とは文字通りではありませんが、自分を冷静に見る目を持つてほしいということ。第三者的に俯瞰した視点を持つてほしいということです。本当に難しい事だと思いますが、高校生までの甘い生ぬるい状態から大人として厳しい社会を生き抜いて行くためにぜひこの機会に身に付けてほしい力です。具体的には、言葉を口にする時、何か行動する時にその言動がその場に合っているのか、それによって誰かを傷つけたり、不快にさせていないかなど、少し考えてみてください。今までなら許されていた言動もこれからはあなた自身の評価に関わってきます。ちょっと考える余裕を持ちましょう。

「他人に優しく」もちろん文字通りではありませんが、

ますが、常に自分のこととして自分が嫌なことは他人にしない、してもらってうれしいことをする。この姿勢で表面的な優しさではなく、内面からの優しさを求めたいと思います。他人に優しくできる人は必ず周りから優しくされます。本当の意味の「付度」をしてください。

社会では一人では生きて行けません。多くの他人に生かされて行くものです。みなさんの「自立への道程」はまだまだこれからも続きます。この「自分に厳しく、他人に優しく」の姿勢を持つてしっかりと歩んでください。

卒業おめでとう！

## 新たに世界が広がった！



31R担任  
新宮美也子

三十三期生のみなさん、卒業おめでとうございます。卒業にあたり皆さんに二つをお願いをしたいと思います。

一つ目は『自分が「〇〇してほしい」と思うことを周囲の人にすること。』

『己の欲せざる所人に施すこと勿かれ』（自分がしてほしくないことは人にもするな）という言葉があります。これはもう当然のことなので、もう一步進んで。「話を聞いてほしい」と思うなら自分から人の話を聞いてあげる。「優しくしてほしい」と思うなら自分から人に優しくしてあげる。関係や環境が変わる第一歩にもなるでしょう。

二つ目は『いのちを大切にすること。』

人生は常に「選択」です。でも、選択を間違えたり、たとえ悪に負けたりしても、人生は簡単にゲームオーバーにはなりません。いつでもやり直すことができます。「冒険の手引き」や「攻略本」は、他者が持つていることもあります。困ったら誰かを頼り、相談していいのです。格好悪くても、いいじゃないか。自分に与えられたいのちを生きたるということが、何より大事ですからね。

さあ、元氣よく、新たな冒険の旅に出発しよう！応援しています。

## 新たな出会いで自分を伸ばせ！



32R担任  
杉尾裕邦

栄えある松江東高校で卒業式を迎えられる33期生の皆さん、アニメ「一休さん」を知っていますか？とんちで有名な一休さんですが、改めて調べてみると、師から優れた教えを受けた偉いお坊さんで、歌を詠んだり、身分の違いに関係なく仏の教えを皆に説いたり、墮落した僧界に失望して山で断食死を試みたり、果ては50歳年下の若き女性と同棲生活をしていたり（！）、と80歳を超える人生を本当に全うした人であったようです。

いまここで私が注目したいのは、「師との出会い」です。私が小学生のときに読んだ一休和尚の伝記本では「私にはもうお前に教えることはない。

〇〇を訪ねて弟子になりなさい」と言われて一休さんは次なる師に入門していきました。事実、彼は6歳で京都の安国寺の像外集鑑に入門、17歳で謙翁宗為の弟子となり、その5年後に京都の大徳寺の高僧、華叟宗曇の弟子となっています。新たな師から新たな教えを学び取り、自らを高めていったのです。有名な指揮者の小澤征爾さんも、カラヤンに、ミュンシュに、バーンスタインに師事して腕を磨き、世界一流の指揮者になりました。

長い人生、ひとところに留まって「あのときは良かったなあ」などと思いついて浸っているだけでは、人間としての進歩は止まってしまっているのではないのでしょうか。確かに、新しい何かにチャレンジするのは面倒だし、しなくて済むのならそのほうが「楽」でしょうね。でも、皆さんには取って、新しい環境で新しい出会いを積極的に求めてほしいのです。先生、学部先輩、バイト仲間など。また人の出会いばかりではなく、ボランティアや旅行なども新しいものとの出会いです。資格取得もわかり。ぜひがんばって自分磨きをしてきてください！

私たち東高教員の立場からすれば、育ててきた我が子を「もう教えることはない、次の師のもとへ行きなさい」と送り出すということになるのでしょうか。卒業式での別れはうれしくもさびしくもあります。でも、私たちは皆さんを笑顔で盛大に送り出してあげたいという気持ちでいっぱいです。本当におめでとうございます。またどこかで会いましょう！

## 今できる精一杯



33R担任  
榎山留未

ご卒業おめでとうございませう。振り返ってみればあつと一年生、緊張しながら座っていた入学式の朝、嘯まらずに呼べたS君の名前、毎月のお誕生日黒板、ガーネットの朝練、ハロウインの飾り、デコレーションケーキ選手権。二年生、元気に発表してくれる毎日の授業、クラスを盛り上げてくれた元気な7人、たくさん怒ったけど思い出深い東京研修、燃えに燃えた球技大会、いろいろあつたけど結局はまとまった東雲祭、寒くなるにつれて結末が強まっていく様子、大騒ぎしたケードロ。三年生、進路が決まらず焦っていた初夏、準備が大変だったけど最高に盛り上がった学園祭、それぞれの思いが強まった10月マーク模試、たくさんの人に指導していただいた秋、体育館での円陣、深く多く話せた毎日の面談、黒板に先着順で書かれた面談希望の名前、悩みながらも前に進み始めた1月の面談、最後まで頑張り抜いた冬期補習。すべてをここには書き尽くせませんが、とても充実した、味のある3年間でした。皆さんの青春の日々に寄り添えたことにとっても感謝しています。そして皆さんが毎日少しずつ成長していく様子を傍で見守ることができて、そして今たくましく旅立っていく姿を見送ることができてとても嬉しく思います。

33期生の皆さんには、表題の言葉を贈り続けてきました。これは、私が高校生の時に部室に掲げてあつた言葉です。私も高校時代にこの言葉を胸

に3年間過ごしました。卒業に際してもこの言葉を贈ろうと思います。「今」この瞬間に目を向けましょう、私たちは生きていくのは常に今です。そしてその時にできる精一杯を尽くしましょう。これはなにも常に最高最善であれという意味ではありませんよ。できることにできる範囲で一生懸命になりましょう。これからも応援され、愛される人であつてください。応援しています。

## 信は力なり



学年主任 34R担任  
寺井直

三十三期生のみなさん、卒業おめでとうございます。私の教員人生の中で何度か担任を経験したことがあります。三年前にみなさんを迎えたときには、これまでとは少し違った気持ちでした。私の子供の年齢がみなさんと近かつたこともあり、保護者目線を持ち合わせていたように思います。

さて、センター試験前日の集会で、「信は力なり」という話をしました。「自信」「信頼」「信用」「信義」など「信」がつく言葉は様々にあります。「信じる」ことは「力」になると言ってしまうのは簡単ですが、この「信じる」ことは簡単にはできません。「自信」を持つためには、それまでに努力を積み重ね、様々なことを経験することが必要です。そうして得た自信もちよつとしたことで失ってしまいます。そして、再び自信を取り戻すために一歩ずつ前に進んで行くのです。みなさんも、

これまでの人生の中でそうしたことを経験してきただけです。三年前には、あどけなかつたみなさんが、努力と失敗を繰り返し、少しずつ自信を深めて行くことよって大きく成長できたと思います。得た自信は必ず力になります。みなさんはまだまだ経験も浅く、これからは失敗や苦勞するところがあるでしょう。しかし、それも自らを成長させ、自信を得るために必要なことだと考え、向上心を持って歩んでいってください。みなさんならきっとできるはずですよ。

最後になりましたが、松江東高等学校三十三期生の今後の活躍を期待し、保護者の皆様や関係するすべての皆様のご健康とご多幸を祈り、卒業へのはなむけの言葉とさせていただきます。

## 挑戦し続けよう



35R担任

内田 まどか

卒業おめでとうございます。

みなさんの高校3年間は、どんな3年間でしたか。たかさんの場面で仲間を大切にする姿やお互いを高め合いながら目標に向かう姿がとても印象的でした。また私自身、みなさんから勇気をもらったり、気づかされることが多くありました。

みなさんと同じ時を過ごせたことを本当に嬉しく思います。ありがとうございます。しかし、この3年間に悔いがないかといえば、あのときこうしていれば…と思うこともあります。みなさんはどうでしたか。

悔いのない日々を過ごすことはとても難しいことです。しかし、後悔や失敗ばかり不安に考えていたら前に進めない。「いろいろ考えられる選択肢の中から、この一手」を選ぶのは自分しかないのです（羽生善治）。「俺の敵はだいたい俺です（宇宙兄弟）」これから先、価値観が多様化し選択肢の多い中で、決断を迫られる場面がたくさんあるでしょう。自分に打ち勝ち、決断する自分に勇気を持ってください。「神様は、私たちに成功してほしいなんて思っています。ただ、挑戦してほしいだけです（マザー・テレサ）」自分の可能性は自分が思っているよりもはるかに大きい。それをかたちにするのは自分自身です。自分を信じて前に進んでください。困難な道だとしても、みなさんならそこから大切なものを学び、自らの力で切り開く力を備えていると信じています。高校3年間の努力や苦勞、成功や失敗など、すべての経験により、みなさんは大きく成長し、頼もしくなったと感じています。迷ったときは、やらずに後悔するよりも挑戦して失敗する方がいい。自分を大切にし、自分らしさを忘れずに素敵な人生を歩んでください。



## 贈る言葉



36R担任

山崎 慎司

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんとはこの二年間、担任・教科担当としてすばらしい時間を共有させていただきました。苦しいこともありましたが、その何倍もの喜びや感動を皆さんからもらいました。『東京研修』も素敵な思い出になりました。今は感謝の気持ちでいっぱいです。私は「楽しく、厳しく」という言葉が好きです。

「楽しさ」がなければ何事も身につかないけれど、本当の「楽しさ」に辿り着くためには「厳しさ」が必要ではないか、そんな思いが込められています。子供達と一緒に学校生活を送る中で、この言葉を実感する場面に数多く出会ってきた気がします。受験や部活動を通じて私が皆さんに伝えたいと思っている言葉でもあります。

皆さんは今、それぞれ自分の道を歩き出そうとしています。「楽しく、厳しく」を胸に堂々とその一歩を踏み出してください。お別れするのはとても寂しいのですが、皆さんの活躍を心から願っております。

♪遠く遠く離れていても

僕のがわかるように

力いっぱい輝ける日を

この街で迎えたい・・・

## 保護者からの言葉

### 命を輝かせて

31 R 保護者 野 津 和佳子

ご卒業おめでとうございます。振り返れば、入学してからあつという間の三年間だったと思います。東高生としての生活は勉強や部活動、学校行事や課外活動と忙しい毎日ではなかったでしょうか。我が子もそうした慌ただしい日々を送りましたが、部活動やクラスの仲間、先生方に恵まれたが、楽しく、充実して過ごすことができました。周囲の支えがあつて今日の日を迎えることができたことに大変感謝しています。学校生活では、様々な活動において、多くのことを学び、人間的に大きく成長できたと思います。

この三年間、親として子供を支えてきたつもりではありますが、むしろ娘自身が、積極的に自分の可能性を広げようと努力している姿に学ぶことも多かったように思います。

ある時、娘は「自分はどこにいても自分の命を輝かせていける」と自信を持って言いました。将来どのような道に進んでも、この子の思いを大切にし、信じて応援していこうと思っています。

これからの人生で一見自分にとって不都合と思われることが起きても、それにとらわれることなく、笑顔をもって自分の信じた道を歩んでいくください。今この瞬間の出来事に一つ一つ丁寧に取り組んでいくことが人生を豊かなものにすると思います。

卒業生の皆さん、皆さんのそれぞれの命を輝かせ、実りある日々を送られますよう心から祈っております。

### 33期卒業生の皆さんへ

32 R 保護者 長 岡 元 美

ご卒業おめでとうございます。3年前、二〇一五年の春に入学したのが、つい最近の事のように思われます。

我が家には、このたび卒業する娘と、3年前に東高を卒業した息子がおります。合わせて6年間、東高にお世話になったことになりました。この6年間、私は東雲祭を全て參觀させていただきました。1日目の文化の部から3日目の体育の部まで、毎年感動し、楽しませてもらいました。皆が協目もふらず一心に取り組む姿は、本当に素晴らしい経験だと思っています。

この東高で学んだ沢山の出来事、習得したこと、精神力、そしてかけがえのない友人は、きっと一生の宝物となることでしょう。

最後になりましたが、これまで温かく見守り支えてくださった先生方、感謝しております。ありがとうございました。



### 最初で最後の模擬店

33 R 保護者 藤 原 須美子

平成29年8月31日。

学園祭の初日に、PTAとして初めての模擬店を出店いたしました。たった1日の開催ではありましたが、沢山の東高生が列を作ってくれました。子供たちの事前アンケート1位のクレープにフラックフルトソーセージ、グリーンティー。味はどうだったかな？

他校での模擬店経験はあったのですが、東高にはないのだなあと少々淋しく思っております。今年の会長様より初めての催しの提案があり、諸手を挙げて賛成いたしました。やってみると、はじめてお話しする先生方や保護者さんも多く、楽しい一日を過ごせました。何より並んでくれた高校生がとてもかわいく思えました。

学園祭からたった半年のうちにみるみるしっかりとってきた3年生。いよいよ卒業ですね。3年間の東高生活は思い出でいっぱいだと思います。その思い出の中に最初で最後の模擬店のクレープの味が残っていたら幸いです。

卒業本当におめでとうございます。いつまでも応援しています。

### 卒業生へ贈る言葉

34 R 保護者 清 水 礼 子

3年生の皆さんご卒業おめでとうございます。新しい一步を踏み出す時が来ましたね。



選挙権の年齢が18歳に引き下げられ、皆さんの中には昨年初、人生初の一票を投じた人も多いと思います。これからは世の中の動き、幅広い事柄に興味関心を持ち、自分の意思表示をはっきりとさせなくてはなりません。あなたの意見を求められる事は、今後益々増えていきます。大学でのディスカッションの場、職場や地域での会議の場などもそうです。考えている事を落着いて冷静に言葉にする為には、日頃からの習慣が大切です。自分はどうありたいか、どうなりたいか、目指す生き方を明確にしておきましょう。軸となる考えをきちんと持つ事で、それはおのずと言動となつて現れます。

「考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる」これはイギリスの元首相、マーガレット・サッチャーの言葉です。どんな事柄においても、自分の考え、信念を持ち、誠実に生きていく事、その積み重ねがあなたを作り上げていきます。

これからは、進学や就職で地元を離れて生活をする人も多いでしょう。また、幅広い年齢層と関わりを持つ事にもなります。思いもよらない発想や意見に直面し、驚く事もあると思います。あなたのアイディアや、時間を掛けて取り組んだ事を否定される事もあるかもしれません。しかし、皆さんはまだまだ若いのです。謙虚に、前向きにそれを受け止めていって下さい。困難な出来事は、自分を成長させてくれるチャンスと捉える事も出来るのです。失敗を恐れず、いつでもこれからだという気持ちで望んで下さい。

そして、「楽しむ」という事も、決して忘れないで下さい。あなたが大好きな事、趣味などを大切に持ち続けて下さい。それに没頭できる時間を

必ず持ちましょう。心に余裕をもちたらし、人生を豊かにしてくれます。何か困難な壁にぶつかった時は、それが心を支え、大きな力となつてくれます。

皆さんの輝かしい未来を応援しています。

## 卒業生の皆様へ

35 R 保護者 門 脇 恵理子

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。親しい友人や親元を離れ旅立つ方も多いと思います。新生活に羽ばたこうとする中で、3年間で経験し学んだ事を基にして、不安に負けず、何事にも立ち向かっていきたいと思います。

私事ではありますが、一人の親としてもやはり不安の連続する3年間でした。学業もスポーツも友人関係も大丈夫なのかと感じていました。何時もマイペースな我子を見てみると、頼もしくもあり、また不安にもなり、複雑な心境でした。

そんな中で親子共々成長していく事ができましたのは、支えて頂いた先生方やお世話になった皆さんのおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。

これから新たな世界に歩み出す皆さん。

人生の瞬間一瞬を大切に、その時を精一杯努力して大切に過ごしてください。後から悔やんでも貴重な時間は取り戻せません。

胸を張って誇れる自分になれるよう、夢に向かって挑戦し、勇気と希望を忘れず過ぎるよう祈っております。

## 優しいひとであれ

36 R 保護者 久保田 真 紀

三年生のみなさんご卒業おめでとうございます。おそらく、ほとんどの保護者の方々が幼かったころのみなさんをおもいだし、大きく成長された姿に感無量だと思います。

しかし、まだ18歳！これまでの人生でみなさんが見てきた世界はほんの一部でしかありません。この先はこれまでの世界観にとらわれることなく、もつともつと広い世界を自分の目で見てほしいのです。そして、その中で得た知識や経験を自分のものにし、広い世界観を持った自分を自ら作っていくって欲しいと思います。

人は何を幸せに感じるかは誰しも同じではありません。その人なりの幸せがあります。人と違うからと自信をなくすことなく、自分を信じて自分を大切にこれからの人生を歩んでほしいと思います。私の好きな言葉に「みんな違ってみんないい」という言葉があります。私は今、障害を持つている方と一緒に仕事をしているのですが、「みんな違って当たり前！」とまさにその言葉の意味を日々感じながら過ごしています。みんなと同じでなくていいんですよ、何事も。

最後になりましたが、卒業後は親元を離れる人、地元に残る人さまざまだと思います。まずはしっかりと歩んでいってください。そして何よりも、人の痛みの分かる優しい人であってほしいと思います。必ずその優しさは自分にかえってきて、自分を助けてくれますから。みなさんのご活躍を期待しています。

# 卒業生からの言葉

## 3年間ありがとう

31 R 森脇 鈴

卒業という日を迎え、今振り返ると、高校生活は本当にあつという間だったように感じられます。ただ、毎日はとても密度の濃いものでした。嬉しかったことや悲しかったこと、色々なことがありました。私は高校3年間、吹奏楽部に所属していました。入学当初、入部することを迷っていたことが嘘のように、私の思い出は吹奏楽部一色に染まっています。学校の皆さん、地域の方々など沢山の方に応援して頂いたことは、私たちの演奏の原動力となり、いつも勇気をくれました。そして、どんなに練習が辛くても、演奏後にお客さんからいただいた拍手は何にも変えられないほど嬉しかったです。よし、明日も頑張ろう！と思うことができました。仲間と共に音を合わせ、心を合わせ、時には正面からぶつかり、涙しながらも、ひとつひとつ音楽をつくりあげてきた時間は本当にかげがない宝物です。卒業してしまつたらもうこの時間は二度と戻らないのか、と思うと寂しい気持ちでいっぱいになります。離れ離れになつてしまつ前に、部活を通して出会つた多くの人達へ「ありがとう」を伝えたいです。

そして、この3年間を陰で支えてくれたのは家族です。私が何不自由なく学校生活を送ることができたのは本当に家族のおかげだと思つし、進路実現ができたのも家族の協力があったからだと思います。これからは私が支えられるように頑張ります。

私は春からこの島根で働くことになりました。

社会人になるということは、高校生とは違い、これから直面する試練に一人で立ち向かうことだと思います。不安はいつぱいですが、心にはいつも松江東高校で過ごした温かい思い出があり、私の背中を押してくれています。これからは、お世話になつた方々へ恩返しとなるように仕事をしたいです。

## 東高での思い出

32 R 梶原 誠一

松江東高校で過ごした3年間は、今までの学校生活の中で最も短く感じた3年間でした。それほど、毎日が楽しく、充実した日々を送ることができた実感しています。

僕は野球部の一員として同級生と沢山汗をかきながら、切磋琢磨してきたことが東高での一番の思い出です。初めて使う硬球に対して、力負けしない力をつけるために、お互い鼓舞しあつて、叫びながらウエートトレーニングをしたり、終わりの見えない長距離走だったり、苦しかったのをよく覚えています。しかし、この本気で取り組んだ練習の成果が試合で出て、みんな嬉し合える時が最高の瞬間でした。そして、一緒に喜んだり、苦しんだりすることができた野球部の13人が大好きです。時に朝槻先生、山崎先生、大石先生に怒られてしまつたことはありましたが、そういった細かな技術的指導や人間的指導が、僕たちが野球をするうえで真つすぐに成長できた大きな要因だつたと思うので、本当に感謝しています。

学校生活の面では、礼儀・挨拶・気配りを特に意識して過ごしてきました。これから社会に出て、一人で生きていく上でとても重要なたと多くの先生に指導していただき、僕も自覚を持つて取り組みました。細かなことを積み重ねることが、周りから信頼してもらえ人間になることに繋がつてく

ると思うので、これからも続けていきたいです。そして、ここまで学校生活、部活、勉強をやってきたのは、友達や先生方、家族のおかげだと思つています。特に両親には、毎日の弁当作りや部活のサポートなど、お世話になつたので感謝しきれません。この感謝の気持ちを忘れず、少しずつ恩返ししていきます。

今年卒業する33期生は穏やかで、優しく、人間的に尊敬できる人が沢山います。そういう人たちと良い思い出を作ることができて、良かったです。3年間、ありがとうございました。

## 3年間を振り返つて

33 R 松田 春菜

高校3年間を振り返つてみると、3年生の時が最も濃い1年だつたと思います。毎週の様に土曜日も出校し模試を受け、日曜日は家で予習・復習の繰り返しで、学習時間の確保が大変でした。模試が無い時には、定期試験があり気が抜けませんでした。しかし、仲間と勉強を教えあつたり先生に質問に行つたり、休憩時間に他愛もない話で盛り上がりたり、楽しい思い出もたくさんあります。

2年生の時には東京研修があり、グループで企画話し合い助け合うことで無事研修を終えることが出来ました。この経験は充実した学校生活に繋がつたと思つています。

私はJRC部に所属していました。入学当初は2年生の先輩はおられず、3年生の先輩に色々教えてもらいました。JRC部での活動は、初めてのことが多かつたです。募金活動、ろう学校訪問、救急法の大会、海岸清掃、東雲祭でのかき氷販売；この中で一番印象に残っている活動は、東雲祭でのかき氷販売です。この活動を通して、仲間との絆を深めることが出来ました。そして、JRC部で学んだ「気づき」「考え」「実行する」こ

とを今後も生かしていきたいです。  
いよいよ、4月からは大学生活が始まります。多少不安もありますが、今まで培ってきた人たちの繋がりを大切にしつつ、高校3年間で経験したことを生かして乗り越えていこうと思います。3年間ありがとうございました。

## 送る言葉

34 R 村松美鶴

ふと下を見ると、履き潰したスリッパが3年という月日の長さを物語っているようです。しかし振り返ってみれば、あつという間の3年間でした。吹奏楽部の仲間と共に演奏した沢山のステージや、クラスの皆と作り上げた東雲祭。笑いの絶えないお弁当、課題に追われた定期テスト、少し寄り道した帰り道……。一つ一つがきらきらと輝いて、今では頬を伝えます。受験という大きな壁を乗り越え、3年間頑張つてこられたのは沢山の人の支えがあったからです。今日は、この場を借りてその方達への感謝の気持ちと、東高を担う後輩達へ私からのメッセージを送らせてください。

後輩へ。今楽しいことも、辛いことも、面倒くさく感じることも、すべて全力で受け止めて下さい。そして、共に笑いあえる仲間、悩みを打ち明けられる友達を大事にしてください。この先越えなければならぬ壁にぶつかった時、必ずあなたの支えになります。卒業してもずっと東高生を応援しています。頑張ってください。

先生へ。私は、東高の先生方が大好きです。質問したらわかるまで熱心に教えて下さる先生。本当にその教科が好きなのが伝わるくらい、熱い授業をして下さる先生。生徒のことを思い、厳しく指導してくださる先生。沢山の先生方に支えられながら、3年間学び続けることができました。東高に来てよかったですと心から思います。本当にあ

りがとうございました。  
そして、最後に家族へ。毎日お弁当を作ってくれてありがとう。送り迎えをしてくれてありがとう。忙しくてあまり会話しなくても、いつも気にかけてくれてありがとう。18年間、ありがとうございました。  
春から新しい生活が始まります。これからも東高で得た沢山の経験や思い出を糧に、夢に向かって頑張ります。

## 東高で得たこと

35 R 田中杏奈

私は今でも初めて艇の上から見た夕日が忘れられません。その時の空の色や風の冷たさも全て覚えています。大袈裟かもしれないけれど、こんな景色があるのだと新しい世界を見た気がしました。佐藤先生の「ボートは自分の努力次第で全国も夢じゃない」という言葉を聞き、一瞬でボートに魅了され、入部することを決めました。練習は毎日ハードでもきつかったけれど、個性的で楽しい仲間と同じ目標に向かって汗を流すのは本当に楽しかったです。ふざけあったり、たまに衝突したり、慰めあったり、真面目な話もたくさんしました。きつい冬のトレーニングをみんなで乗り越えたこと、何日も同じ宿生活したことも全て私の大事な思い出です。

引退した今、もう少し勉強をしておけばよかったと思っていますが、それよりも大切なことを学び、成長できたと自信を持って言えます。忍耐力、協調性、体力など、挙げると本当にたくさん出てきますが、とくに自分の可能性の無限大さを知ることができました。運動は苦手だったけれど、毎日自分を追い込み、インターハイに出場し全国で戦うことができました。それが自信にもつながり、この経験は私の一生の財産となりました。また、こんな私でも頑張ればできるのだと気づけたこと

が高校生活の大きな収穫であり、それを支えてくれた家族と先生方には感謝しきれません。  
そして、気が付けば、卒業まであと一か月半。東高に入学してから3年間あつという間でした。そして今振り返ってみると、入学前には予想もしていなかったことが多くありました。これからもやってみたいと思うことに挑戦し続け、自分の決めた道に誇りを持って精一杯頑張りたいです。

## 3年間の感謝

36 R 若槻歩夢

高校3年間を振り返ってみると、本当に沢山の人が支えられて過ごしてきたなあと思います。  
部活では、先生方や外部から指導に来て下さる方々、家族などの支えがあつて3年間続けることができました。日々の練習や試合を経験していく中で、競技に関することだけでなく、生きていく上で大切なことも学ぶことができたと思います。部活は、自分は周りの人達に支えられながら活動していると気づくきっかけにもなつたと感じています。また、部員みんな協力し、目標に向かって練習していくことの大変さや楽しさも経験することができました。

日々の学校生活や行事でも、沢山の思い出ができて、本当にあつという間の3年間でした。毎日、友達と話して笑うのが何よりも楽しく、大切な時間でした。楽しい学校生活が送れることは、当たり前のことではないと思います。本当に恵まれた環境で3年間過ごすことができ、感謝しています。東高で過ごした時間は、私にとってかけがえのないものになりました。ここで出会った人達に、本当に感謝しています。これから生きていく中で、東高で学んだことを生かしながら自分でできることを考え、恩返ししていきたいと思えます。3年間、ありがとうございました。

# 平成29年度後期部活動成績

## 女子バレーボール部

◆中国大会県予選  
予選リーグ戦  
2-1 益田翔陽 2-0 吉賀 0-2 松江商業

◆県総体  
1回戦 2-0 松江商業  
2回戦 1-0 大東  
3回戦 1-2 安来

◆県選手権  
1回戦 0-2 松江商業  
2回戦 1-0 江津

◆県新人大会  
1回戦 0-2 松江商業  
2回戦 1-0 江津

## バスケットボール部

◆中国大会県予選  
男子 2位  
一次予選 2回戦 プロック決勝 125-12 島根中央  
二次予選 91-39 開星 83-67 45 松江北陵  
女子 2位  
一次予選 1回戦 プロック決勝 87-28 33 松江北  
二次予選 88-78 出雲北陵 51-68 28 33 松江北  
87-57 松江南 51-68 28 33 松江北

◆中国選手権大会(山口市)  
男子 ベスト8  
1回戦 60-45 85 岡山工業  
2回戦 93-69 60 徳山商工

◆県総体  
男子 2位  
1回戦 60-45 85 岡山工業  
2回戦 93-69 60 徳山商工

◆県選手権  
男子 2位  
1回戦 60-45 85 岡山工業  
2回戦 93-69 60 徳山商工

◆県新人大会  
男子 3位  
1回戦 108-85 倉吉北(鳥取)  
2回戦 68-66 呉港(広島)  
3回戦 55-78 豊浦(山口)

## 卓球部

◆中国大会県予選  
男子 団体 一回戦 1対3 益田  
男子ダブルス 4組参加  
男子シングルス 8名参加

◆県総体  
男子 団体 一回戦 0対3 津和野  
男子ダブルス 2組参加  
男子シングルス 5名参加

◆県選手権  
男子 団体 一回戦 0対3 明誠  
男子ダブルス 2組参加  
男子シングルス 5名参加

◆県新人大会  
男子 団体 一回戦 0対3 明誠  
男子ダブルス 2組参加  
男子シングルス 5名参加

## 卓球部

◆中国大会県予選  
男子 団体 一回戦 1対3 益田  
男子ダブルス 4組参加  
男子シングルス 8名参加

◆県総体  
男子 団体 一回戦 0対3 津和野  
男子ダブルス 2組参加  
男子シングルス 5名参加

◆県選手権  
男子 団体 一回戦 0対3 明誠  
男子ダブルス 2組参加  
男子シングルス 5名参加

◆県新人大会  
男子 団体 一回戦 0対3 明誠  
男子ダブルス 2組参加  
男子シングルス 5名参加

## ソフトテニス部

◆中国大会県予選  
女子 シングルス 5名参加  
予選リーグ 4・5位 トーナメント

◆県総体  
女子 団体 一回戦 0対3 明誠  
女子ダブルス 2組参加  
女子シングルス 5名参加

◆県選手権  
女子 団体 一回戦 0対3 明誠  
女子ダブルス 2組参加  
女子シングルス 5名参加

◆県新人大会  
女子 団体 一回戦 0対3 明誠  
女子ダブルス 2組参加  
女子シングルス 5名参加

## ソフトテニス部

◆中国大会県予選  
女子 シングルス 5名参加  
予選リーグ 4・5位 トーナメント

◆県総体  
女子 団体 一回戦 0対3 明誠  
女子ダブルス 2組参加  
女子シングルス 5名参加

◆県選手権  
女子 団体 一回戦 0対3 明誠  
女子ダブルス 2組参加  
女子シングルス 5名参加

◆県新人大会  
女子 団体 一回戦 0対3 明誠  
女子ダブルス 2組参加  
女子シングルス 5名参加

◆中国大会県予選  
男子 個人 一回戦 0-1 3 大社  
男子団体 一回戦 0-1 3 大社

◆県総体  
男子 個人 一回戦 0-1 3 大社  
男子団体 一回戦 0-1 3 大社

◆県選手権  
男子 個人 一回戦 0-1 3 大社  
男子団体 一回戦 0-1 3 大社

◆県新人大会  
男子 個人 一回戦 0-1 3 大社  
男子団体 一回戦 0-1 3 大社



男子団体戦

一回戦 松江東 対 鹿島(佐賀) 5人残り勝ち

二回戦 松江東 対 東海大札幌(北海道) (5人抜き)

◆全国高等学校総合体育大会(宮城)

女子個人戦 尾嶋 一回戦 5人残り負け(5人抜き)

◆島根県高等学校剣道選手権大会

男子団体戦 松江東 対 益田東 5人残り勝ち

二回戦 松江東 対 出雲商業 1人残り勝ち

三回戦 松江東 対 情報科学 大将戦負け 3位

女子団体戦 松江東 対 横田 大将戦負け

二回戦 松江東 対 横田

◆島根県高校新人剣道大会

男子団体戦 松江東 1対1 松江高専 代表戦負け

二回戦 松江東 0対1 横田

予選リーグ 松江東 3対0 矢上

決勝トーナメント 松江東 3対0 松江北

一回戦 松江東 1対2 大社

準決勝戦 松江東 1対2 大社

男子個人戦 3位(中国新人大会出場権獲得)

◆出雲陸上

男子砲丸投 平井 統壺 4位

男子円盤投 平井 統壺 4位

女子砲丸投 平井 統壺 4位

女子円盤投 吉田 太一 4位

男子砲丸投 森本 千陽 7位

男子円盤投 平井 統壺 7位

女子砲丸投 大森里沙 8位

女子円盤投 大森里沙 8位

男子砲丸投 大森里沙 6位

女子砲丸投 大森里沙 6位

男子砲丸投 大森里沙 6位

女子砲丸投 大森里沙 6位

男子砲丸投 大森里沙 6位

女子砲丸投 大森里沙 6位

女子三段跳

女子三段跳 川本 侑奈 7位

女子四段跳 川本 侑奈 7位

◆中国大会出場

男子8000M 吉田 太一 3位

男子15000M 吉田 太一 4位

男子30000M 船越 秀太 優勝

女子1000M 川本 侑奈 3位

女子走幅跳 川本 侑奈 7位

女子三段跳 川本 侑奈 7位

女子四段跳 川本 侑奈 7位

男子ダブルスカル 菅沼 4位

男子シングルスカル 菅沼 4位

女子ダブルスカル 菅沼 4位

女子シングルスカル 菅沼 4位

男子ダブルスカル 菅沼 4位

男子シングルスカル 菅沼 4位

女子ダブルスカル 菅沼 4位

女子シングルスカル 菅沼 4位

男子ダブルスカル 菅沼 4位

男子シングルスカル 菅沼 4位

女子ダブルスカル 菅沼 4位

女子シングルスカル 菅沼 4位

男子ダブルスカル 菅沼 4位

男子シングルスカル 菅沼 4位

女子ダブルスカル 菅沼 4位

女子シングルスカル 菅沼 4位

男子ダブルスカル 菅沼 4位

男子シングルスカル 菅沼 4位

女子ダブルスカル 菅沼 4位

女子シングルスカル 菅沼 4位

◆全国高等学校総合体育大会ボート競技

男子ダブルスカル (田中・柳田) 予選敗退

男子シングルスカル (高木) 準々決勝進出

女子ダブルスカル (内藤・安達・吉原・清水・田中・浮田・松原) 準々決勝進出

◆国民体育大会

女子シングルスカル (林) 準々決勝進出

女子舵手付きクオドルプル (中国大会出場) 準々決勝進出

◆島根県体育大会

女子舵手付きクオドルプル (菅沼) 準決勝進出

男子舵手付きクオドルプル (菅沼) 準決勝進出

男子ダブルスカル (菅沼) 準決勝進出

女子ダブルスカル (菅沼) 準決勝進出

女子シングルスカル (菅沼) 準決勝進出

◆選抜中国予選

女子舵手付きクオドルプル (菅沼) 2位

女子ダブルスカル (菅沼) 2位

女子シングルスカル (菅沼) 2位

◆中国大会予選

男子舵手付きクオドルプル (菅沼) 2位

男子ダブルスカル (菅沼) 2位

男子シングルスカル (菅沼) 2位

◆中国大会(島根県)

男子ダブルスカル (菅沼) 2位

男子シングルスカル (菅沼) 2位

◆中国大会(島根県)

女子ダブルスカル (菅沼) 2位

女子シングルスカル (菅沼) 2位

◆中国大会(島根県)

男子ダブルスカル (菅沼) 2位

男子シングルスカル (菅沼) 2位

◆中国大会(島根県)

女子ダブルスカル (菅沼) 2位

女子シングルスカル (菅沼) 2位

◆中国大会(島根県)

男子ダブルスカル (菅沼) 2位

男子シングルスカル (菅沼) 2位

◆中国大会(島根県)

女子ダブルスカル (菅沼) 2位

女子シングルスカル (菅沼) 2位

ボート部

ハンドボール部

陸上競技部

◆高等学校ハンドボール選手権大会 兼 中国高等学校ハンドボール新人大会県予選

【男子】1回戦 対松江工業 34-14  
準決勝 対飯南高校 22-20  
決勝 対江津 39-15

【女子】(4チームリーグ戦)  
対江津高校 5-1  
対松江南高校 3-1  
対松江女子高校 7-20  
第4位

◆アーチエリー部

◆島根県春季アーチエリー大会(中国予選)

70 M 女子 1位 若槻 歩夢 2位 渡部麻奈美  
3位 安達 慧  
70 M 男子 5位 竹谷 恵寿  
50/30 M 女子 1位 若槻 歩夢 2位 安達 慧  
3位 渡部麻奈美

◆中国高等学校アーチエリー選手権大会(島根)

個人戦 トーナメント 1回戦敗退  
竹谷 恵寿・今岡 生太 (予選敗退)  
若槻 歩夢・決勝トーナメント進出(32名)  
安達 慧・渡部麻奈美・内田明日華 (予選敗退)

◆全国高等学校総合体育大会 第50回全国高等学校アーチエリー選手権大会(宮城県)

決勝 トーナメント 第4位 若槻 歩夢  
女子個人戦(219名参加) 予選敗退  
若槻 歩夢 87位(539点) 渡部麻奈美 168位(446点)  
安達 慧 175位(434点) 内田明日華 199位(377点)  
男子個人戦(228名参加)

◆島根県秋季アーチエリー大会(全国選抜予選)

70 M 女子 1位 峯谷 斐芽 2位 内田明日華  
3位 井上 紗都  
30 M 女子 1位 野津 千聖 2位 小草 舞佳  
3位 仁木美沙希  
30 M 男子 1位 北瀬 健一 2位 鍛冶 唯斗  
4位 池田 健一

◆島根県身体障害者ハンドボール大会

一般の部  
18 M 女子 1位 三好 真令 3位 渡部麻奈美  
4位 峯谷 斐芽  
18 M 男子 6位 鍛冶 唯斗 7位 平野 駿平

◆弓道部

◆中国大会県予選  
男子団体(松崎・草本・江角・藤江・津森・森脇)

予選 60射 28中 予選敗退  
女子団体 (長谷川・田部・横山・田中・田村・奈良井)  
予選 60射 16中 予選敗退

松崎 弘哉 予選 12射 10中  
順位決定競射(遠近)にて3位 中国大会出場  
女子個人 田部 美緒 予選 12射 7中  
順位決定競射(射詰め)にてベスト12 中国大会出場

◆中国大会(岡山県)

男子個人 松崎 弘哉 予選敗退  
女子個人 田部 美緒 予選敗退  
男子個人 奈良井千咲 予選敗退  
女子個人 順位決定競射敗退

◆新人戦兼中国新人大会個人の部県予選

男子個人 奈良井千咲 予選敗退  
女子個人 順位決定競射敗退  
男子団体 順位決定競射敗退  
女子団体 順位決定競射敗退

◆選手権兼全国選抜大会県予選兼中国新人大会県予選

男子個人 予選敗退 予選敗退  
女子個人 予選敗退 予選敗退  
男子団体(岩田・山根・中川・越埜) 予選敗退  
女子団体(石川・岩本・中田・古川) 予選敗退

◆中国新人大会

予選 36射 8中 予選敗退  
女子団体(長谷川・横山・田部・田中) 予選敗退  
予選 24射 11中 予選敗退  
高校女子の部 横山 愛結 予選敗退  
長谷川 夏実 2位

◆松江市武道大会

予選 24射 11中 予選敗退  
高校女子の部 横山 愛結 予選敗退  
長谷川 夏実 2位

◆野球部

◆県高校春季野球大会 東部地区予選

一回戦 11-4 情報科学  
二回戦 3-0 松江商業

◆県高校春季野球大会 県大会

一回戦 7-9 出雲  
二回戦 1-10 立正大浜南

◆全国高等学校野球選手権島根大会

一回戦 5-16 飯南  
二回戦 9-8 益田東

◆県高校秋季野球大会 一次大会

二回戦 0-4 三刀屋

◆松江地区1年生大会

一回戦 8-4 松江南  
二回戦 4-3 合同(西・高専・情報科学)  
準決勝 7-14 安来

◆水泳部

男子500M自由形 3位 大國 正登  
男子1000M自由形 2位 大國 正登  
男子1500M自由形 1位 大國 正登  
男子2000M自由形 1位 大國 正登  
男子50M背泳ぎ 4位 横川 晶  
男子100M背泳ぎ 3位 秋鹿 匠海  
男子200M背泳ぎ 9位 仙田 知命  
男子400M背泳ぎ 8位 仙田 知命  
男子800M背泳ぎ 1位 横川 晶

◆島根県選手権水泳競技大会

男子500M自由形 出場 大國 正登  
男子1000M自由形 出場 大國 正登  
男子1500M自由形 出場 大國 正登  
男子2000M自由形 出場 大國 正登  
男子50M背泳ぎ 2位 横川 晶  
男子100M背泳ぎ 4位 秋鹿 匠海  
男子200M背泳ぎ 2位 秋鹿 匠海  
男子400M背泳ぎ 2位 秋鹿 匠海  
男子800M背泳ぎ 2位 秋鹿 匠海  
男子1500M自由形 出場 横川 晶  
男子50M平泳ぎ 6位 仙田 知命  
男子100M平泳ぎ 4位 仙田 知命

◆中国大会

男子500M自由形 出場 大國 正登  
男子1000M自由形 出場 大國 正登  
男子1500M自由形 出場 大國 正登  
男子2000M自由形 出場 大國 正登  
男子50M背泳ぎ 2位 横川 晶  
男子100M背泳ぎ 4位 秋鹿 匠海  
男子200M背泳ぎ 2位 秋鹿 匠海  
男子400M背泳ぎ 2位 秋鹿 匠海  
男子800M背泳ぎ 2位 秋鹿 匠海  
男子1500M自由形 出場 横川 晶  
男子50M平泳ぎ 6位 仙田 知命  
男子100M平泳ぎ 4位 仙田 知命

◆全国高等学校総合体育大会水泳競技

男子500M自由形 出場 大國 正登  
男子1000M自由形 出場 大國 正登  
男子1500M自由形 出場 大國 正登  
男子2000M自由形 出場 大國 正登  
男子50M背泳ぎ 2位 横川 晶  
男子100M背泳ぎ 4位 秋鹿 匠海  
男子200M背泳ぎ 2位 秋鹿 匠海  
男子400M背泳ぎ 2位 秋鹿 匠海  
男子800M背泳ぎ 2位 秋鹿 匠海  
男子1500M自由形 出場 横川 晶  
男子50M平泳ぎ 6位 仙田 知命  
男子100M平泳ぎ 4位 仙田 知命

◆島根県高等学校新人水泳大会兼中国高校水泳競技大会

男子500M自由形 出場 大國 正登  
男子1000M自由形 出場 大國 正登  
男子1500M自由形 出場 大國 正登  
男子2000M自由形 出場 大國 正登  
男子50M背泳ぎ 2位 横川 晶  
男子100M背泳ぎ 4位 秋鹿 匠海  
男子200M背泳ぎ 2位 秋鹿 匠海  
男子400M背泳ぎ 2位 秋鹿 匠海  
男子800M背泳ぎ 2位 秋鹿 匠海  
男子1500M自由形 出場 横川 晶  
男子50M平泳ぎ 6位 仙田 知命  
男子100M平泳ぎ 4位 仙田 知命

◆ボクシング

男子100kg級 1位 渡部 夏志  
男子150kg級 3位 渡部 夏志  
男子200kg級 3位 渡部 夏志

◆全国高等学校総合体育大会

男子100kg級 1位 渡部 夏志  
男子150kg級 3位 渡部 夏志  
男子200kg級 3位 渡部 夏志

◆全国高等学校総合体育大会

男子100kg級 1位 渡部 夏志  
男子150kg級 3位 渡部 夏志  
男子200kg級 3位 渡部 夏志

◆少林寺

予選出場 少林寺拳法  
男子単独演武 予選出場 藤原 悠也

◆体操

女子個人 総合第5位 勝平 実優

- ◆中国大会予選 女子個人 総合第5位 勝平 実優
- ◆全国高等学校総合体育大会 女子個人 出場 勝平 実優

## 新体操

- ◆県総体 女子個人 総合第5位 石川 遥陽
- ◆中国大会予選 女子個人 総合第5位 石川 遥陽
- ◆中国高等学校新体操選手権大会 女子個人 総合第19位 石川 遥陽

## 吹奏楽部

- ◆カラコ口春まつり 出演 4月9日(日) カラコ口広場、カラコ口工房、殿町交差点
- ◆第24回定期演奏会&文化部ギャラリイ 演奏 伊藤寛隆氏、川津Jr.ブラスバンド) 開催(招待) 5月3日(祝) プラパホール
- ◆島根県東部地区吹奏楽祭 出演 6月4日(日) 島根県民会館
- ◆第25回松江バンドフェスティバル 出演 7月17日(祝) 島根県民会館
- ◆第58回全日本吹奏楽コンクール島根県大会 7月30日(日) 大田市市民会館 銀賞受賞(銀賞最上位)
- ◆東高東雲祭 文化の部にて演奏 8月31日(木) 東高体育館
- ◆松江ニューオーリンズ・フェスティバル、リトル・マルデイグラ2017演奏 10月8日(日) カラコ口工房・広場、県庁前
- ◆第38回城東文化祭 演奏 10月28日(土) 城東公民館(母衣小学校)
- ◆デイサービスわかさ 訪問演奏 11月18日(土) 朝酌町・デイサービスわかさ
- ◆川津公民館ウィンターフェスティバル演奏 12月16日(土) 川津公民館
- ◆第41回全日本アンサンブルコンテスト島根県大会 12月24日(日) 大田市市民会館 木管5重奏 金賞受賞 金管8重奏 金賞受賞
- ◆松江三校(北南東)合同演奏会 出演 12月28日(木) プラパホール
- ◆第56回島根県高等学校音楽コンクール 9月13日(水) 島根県民会館 声楽部門 金賞 永見 雄樹  
ピアノ部門 銀賞 横川 菜帆  
木管楽器部門 金賞 門脇 菜帆

## 美術部

- ◆平成29年度高文連松江地区絵画コンクール 入選 梶谷由羽菜 藤原沙弥加 高木 菜緒  
坪倉 有希 舩岡 葵 松田 りの  
小川 早希 後藤 育子 石原 里菜
- ◆平成29年度島根県図書カード図案 入選 小村 卓月
- ◆平成30年度島根県愛鳥週間用ポスター図案コンクール 入選 高木 菜緒 高木 颯
- ◆平成29年度島根県緑化ポスターコンクール 特選 松田 りの  
優良賞 坪倉 有希  
優良賞 川上 早希
- ◆平成29年度人権啓発ポスターコンクール 入選 後藤 育子 石原 里菜
- ◆平成29年度第50回島根県高校美術展 入選 高木 菜緒 坪倉 有希  
松田 りの 川上 早希 舩岡 葵  
石原 里菜 林 琴美 小村 卓月  
高木 颯
- ◆平成29年度読書感想画県コンクール 優良賞 坪倉 有希 石原 里菜 川上 早希

## 文化創造部

- ◆「放送部門」  
◆第53回県高等学校放送コンテスト 朗読部門 決勝進出 梅山明日香 野津 嘉子  
創作テレビドラマ部門 第2位(全国大会進出)  
創作ラジオドラマ部門 第2位(全国大会進出)
- ◆第64回NHK全国高等学校放送コンテスト 創作テレビドラマ部門 準々決勝出場  
創作ラジオドラマ部門 準々決勝出場
- ◆第41回全国高等学校総合文化祭宮城大会 「演劇部門」 ビデオメッセージ部門 出場  
優良賞
- ◆平成29年度高文連松江地区演劇発表会 「文芸部門」 小説部門 優勝 山本 真子  
佳作 大谷 未帆
- ◆平成29年度高文連文芸コンクール

## 書道部

- ◆平成29年度高文連書道コンクール 特選 橘 夏希 吾郷 杏  
三好 亜美 山根 愛美
- ◆第10回書道パフォーマンス甲子園中国地区予選 5位 松井 彩奈
- ◆平成29年度高校書道展 最優秀賞 三好 亜美

## 弦楽部

- ◆第12回定期演奏会 7月9日(於：島根県民会館 中ホール)
- ◆全国高等学校総合文化祭宮城大会 8月2日(於：岩沼市民会館) 器楽・管弦楽部門 出場

## JRC部

- ◆あしなが育英募金活動参加(春)
- ◆島根県高等学校青少年赤十字メンバー春季協議会参加
- ◆第1回松江・出雲・石見合同ブロック研修会
- ◆九州豪雨災害義援金募金訪問(週2回)
- ◆平成29年度第41回全国高等学校総合文化祭(宮城県大会)参加
- ◆日本赤十字社島根支部主催リーダーシップトレーニング(センター)参加
- ◆地域(美保関)の方々との交流・海岸清掃

## ESS部

- ◆島根県高校生英語セミナーCHES参加(大田市)

## 茶道部

- ◆東雲祭(文化の部)でお茶席を開催  
収益金を東日本大震災災害義援金として日本赤十字社島根県支部に寄付
- ◆結いとうろ「結い茶屋」に協力(県庁庭園)

## 自然科学部

- ◆平成29年度島根県高文連自然科学専門部研究発表会 口頭発表の部 優良賞「ペットボトルロケットについて」

## 囲碁

- ◆第21回中国高等学校囲碁選手権大会島根県予選 女子個人 2位 遠藤 佳歩(中国大会出場)



# P T A 会務報告

平成29年9月30日～  
平成30年3月31日

## 1、PTA研修旅行

〔9月30日(土)〕

〔行き先〕 広島大学(卒業生による案内)

ミュージカル鑑賞『オペラ座の怪人』(上野学園ホール)

〔参加人数〕 34名

## 2、学年PTA(1、2年生)

〔11月11日(土)〕

○ 1年生〔会場〕 視聴覚室

〔内容〕 コース選択説明会 (参加人数 75人)

○ 2年生〔会場〕 体育館

〔内容〕 進路に関する説明会(参加人数 75人)

## 3、第2回役員会

〔2月8日(木)〕

〔議事〕 1、学校近況報告 ※大雪のため中止

2、平成29年度会務報告・委員会活動報告

3、平成29年度PTA予算の執行状況報告

4、平成30年度PTA事業予定

(予定)

## 4、進路研修会

〔3月10日(土)〕

〔場所〕 視聴覚室

〔内容〕 「進学マネープラン」「本年度合格者による講演」



PTA研修旅行の様子

# 後記 編集

「腸内フローラ」という言葉をよく耳にします。

腸内環境は人それぞれで、食生活や生活習慣、年齢などで変化し、腸内が安定していると記憶力のアップにもつながるそうです。

春になり、生活面でも新しい環境を迎えます。

生活環境も人それぞれですが、規則正しい生活や食事に気を付けて、健康で元気に頑張っていきたいと思います。

広報委員 渡邊 陽子

三年の皆様、ご卒業おめでとうございます。

長女の卒業後、次女が入学し早くも一年が経とうとしています。

子供たちの成長は嬉しくもあり、この頃は少し寂しいような・・・

勉強や部活に日々頑張っている姿を見て、これからも仲間を大切に、今しか出来ない事に全力で取り組んでくれたら、と願っています。

最後に、会報誌発行にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

広報委員 松本恵美子

## 【広報委員】

福田 英樹  
能海 由美  
北野 由美子  
渡邊 陽子

井上 智寿  
相見 司  
松本 恵美子





〈題 字〉	〈表紙の 絵〉
26 R	21 R
吾郷	舩岡
杏	葵